日産婦医会発第213号
令和7年10月2日

各都道府県産婦人科医会会長 殿

公益社団法人日本産婦人科医会
会 長 石渡 勇

メノエイドコンビパッチのスイッチOTC化に関するパブコメについて

謹啓　時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本会の事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、厚生労働省は国民が自らの健康管理に主体的に取り組めるよう、医師の処方箋を必要としない「スイッチOTC薬」の拡充を進めております。これは、医療機関の受診抑制による国民の利便性向上、ならびに国の医療費負担軽減を目的とした政策的施策の一環です。

そこで現在、新たにスイッチOTC候補成分として「メノエイドコンビパッチ」が挙げられております。

OTC化が実現した場合、薬局で容易に入手できる利便性や医療費抑制といった利点が期待されます。しかしながら、同薬はホルモン補充療法薬であり、効能効果を踏まえた適正使用、不正出血などの副反応への対応、乳がんリスクなどの観点から懸念も少なくありません。各都道府県産婦人科医会の会員の皆様へ、お知らせ下さいますようお願いいたします。

厚労省パブコメのアドレスは以下の通りです

御意見募集期間 ：令和7年9月12日（金）～令和7年10月11日（土）

（候補成分のスイッチOTC化に関する御意見の募集について　案件番号495250184）

https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/detail?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495250184&Mode=0

また、本会といたしましては、本件は国民の健康に直結する重要課題であり、今後、各都道府県医会の皆様のご意見を伺いたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

謹白